

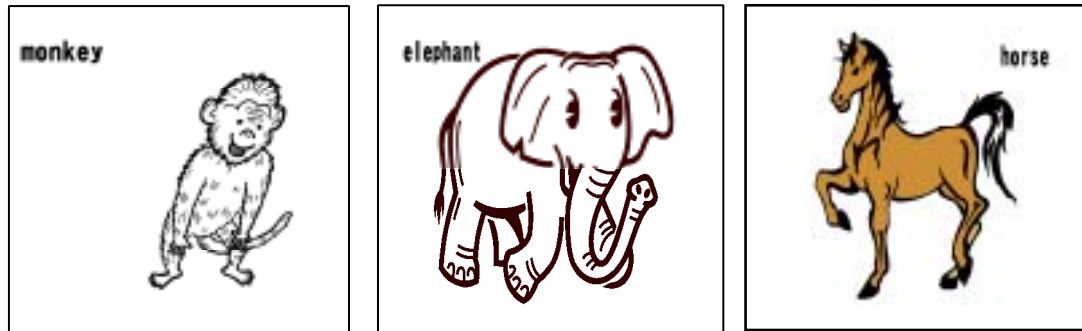
小学校英語活動 15

13 描いた絵見せて！ どんな動物になった？

13 トピック からだの部位

活動名	描いた絵見せて！ どんな動物になった？
活動のねらい	・人や生き物のからだの部位を表す単語を聞き取ろうとしたり、言おうとしたりする。
取りあげる英単語	<からだの部位> head (頭) eyes (目) ears (耳) nose (鼻) mouth (口) neck (首) arms (腕) hands (手) legs (脚) tail (尾) <生き物> monkey (猿) elephant (象)
取りあげる英語表現	Touch your ～. (～を触りましょう。) What body part is this? (これは何という部位ですか。) Draw an animal with ～. (～を持つ動物を描きましょう。)
準備するもの 付	・猿、馬、象、などの絵 ・画用紙とクレヨン (または色鉛筆)
活動内容/活動の流れ	
<p>担任 (ALT) や児童が自分のからだの部位を指差したり触ったり、児童に猿、馬などの絵を見せたり、生き物の絵を描かせたりすることによって、人や生き物のからだの部位を表す英語表現に慣れ親しませる活動です。</p> <p>担任 (ALT) が自分のからだの各部位を指しながら、それを表す単語を言う。 ※ここでは、“Head, Shoulders, Knees and Toes”の歌を歌うことを想定しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>— Head, Shoulders, Knees and Toes —</p> <p>Head, shoulders, knees and toes, knees and toes. Head, shoulders, knees and toes, knees and toes. Eyes and ears and mouth and nose. Head, shoulders, knees and toes, knees and toes.</p> </div> <p>児童に、担任 (ALT) の指示に従い自分のからだの部位を触らせる。</p> <p>猿、馬などの絵を見せながら、そのからだの各部位を表す単語を言う。</p> <p>児童に、担任 (ALT) が言う特徴を持った生き物を描かせる。 ※特徴を表す英語をゆっくりと繰り返しながら児童に聞き取らせましょう。 ※与えられた特徴をもとに自由に表現させましょう。 ※担任 (ALT) もいっしょに描きましょう。</p> <p>児童はお互いの絵を見せ合う。</p>	

ここで使える絵カード



こんな英単語も取りあげることができます

<からだの部位>

teeth (歯) shoulders (肩) elbows (ひじ) back (背中)
knees (ひざ) feet (足) toes (つま先) horn (角) wings (羽)

<生き物>

horse (馬) cow (牛) walrus (セイウチ) giraffe (キリン)
swan (白鳥)

こんな英語表現も取りあげることができます

活動内容 (左ページ) の においては、

Touch your ～. (～を触りましょう。) のほかにも

Open your mouth. (口を開きましょう。)

Close your eyes. (目を閉じましょう。)

Raise your hand. (手をあげましょう。)

などの表現を用いて、児童にその動作をさせてもよいでしょう。

13 トピック からだの部位

活動の流れ	担任（ALT）の動き スクリプトとして活用してください。
①担任（ALT）が自分のからだの各部位を指しながら、それを表す単語を言う。	<p>【 1 】</p> <p>Watch me, everyone. (みんな、私をよく見ていてください。)</p> <p>Head, eyes, ears, nose, mouth, neck,... (頭、目、耳、鼻、口、首…)</p> <p>◎からだの各部位に触れながら英語の表現を順番に言っていく。</p> <p>I'll sing a song. Please listen. (歌を歌いますよ。聞いて下さい。)</p> <p>◎からだの各部位に触れながら“Head, Shoulders, Knees and Toes”を歌う。🔔</p> <p>Let's sing together. (一緒に歌いましょう。)</p> <p>◎児童が後をついてまねできるように、適当な箇所で区切りながら進めていく。</p>
②児童に、担任（ALT）の指示に従い自分のからだの部位を触らせる。	<p>【 2 】</p> <p>Do as I do. (私と同じようにやってください。)</p> <p>Are you ready? (用意はいいですか?)</p> <p>Touch your head. (頭に触ってください。)</p> <p>※eyes, ears, nose, mouth, neck などについても同様に行います。🔔</p> <p>※慣れてきたら児童同士で指示を出し合うのもよいでしょう。</p>
③猿、馬などの絵を見せながら、そのからだの各部位を表す単語を言う。	<p>【 3 】</p> <p>Look at this picture. (この絵を見てください。)</p> <p>What animal is this? (この動物は何ですか。)</p> <p>Yes. It's a monkey. (そうです。猿ですね。)</p> <p>What body part is this? (このからだの部分は何かといいますか。)</p> <p>Yes. It's a head. (そうです。頭です。)</p> <p>How about this? (では、ここはどうですか。)</p> <p>This is a tail. It's a long tail. (しっぽです。長いしっぽですね。)</p> <p>※馬などほかの動物の絵を見せて同様に行います。🔔</p> <p>※long (長い) short (短い) big (大きい) small (小さい) などの様態を表す語も活用して動物のからだの部位の特徴を示しましょう。</p>
④児童に、担任（ALT）が言う特徴を持った生き物を描かせる。	<p>【 4 】</p> <p>Draw an animal with a long nose. (長い鼻の動物を描こう。)</p> <p>※a long neck (長い首) a short tail (短いしっぽ) big eyes (大きい目) などについても同様に行うことができます。</p> <p>Draw an animal with a long tail and big eyes. (しっぽが長くて目の大きい動物を描こう。)</p> <p>※複数の特徴を組み合わせてみるのもよいでしょう。🔔</p>
⑤児童はお互いの絵を見せ合う。	<p>【 5 】</p> <p>Are you finished? (終わりましたか?)</p> <p>This is my animal. (これは私が描いた動物です。)</p> <p>It's an elephant. It has a long nose. (象です。長い鼻がありますね。)</p> <p>Now show your animal to your friends. (さあ、皆さんが描いた動物を友だちに見せましょう。)</p> <p>🔔</p>

児童の活動	授業の進め方
<p>担任（ALT）の動きに注目する。</p> <p>担任（ALT）の後について同じ動作をしながら歌う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>🔊の箇所では CD をとめて、英語（または日本語）で進めてください。</p> </div> <p>🔊 最初は Head. Eyes. のように 1 語ずつ、次に Head and eyes. のように 2 語ずつなど、徐々に区切りを長くしていくのもよいでしょう。</p> <p>※歌を歌わなくても、担任（ALT）がからだの各部位に触れながら英語の表現を言っていくだけでもよいでしょう。</p>
<p>指示されたとおりに、自分のからだの各部位に触れていく。</p>	<p>🔊 Touch your ～. の表現を次々に言っていきます。始めはゆっくりと行い、徐々に速度を上げていくとよいでしょう。</p>
<p>担任（ALT）の問いかけに英語（または日本語）で応答していく。</p> <p>例 “Monkey!” “Head!” 「しっぽ！」</p> <p>示された絵を見ながら担任（ALT）の言う英語に耳を傾ける。からだの部位名と共にその様態を表す英語にも注目する。</p>	<p>🔊 いろいろな動物の絵を見せながら、その特徴を表す英語表現を言っていきます。</p>
<p>担任（ALT）の言った特徴をもつ動物を描く。</p>	<p>🔊 児童に、指示した特徴をもつ動物を自由に描かせます。</p>
<p>担任（ALT）が描いた絵を見て、特徴を表す英語表現を確認する。</p> <p>自分が描いた絵を友だちに見せながら、その特徴を表す英語を言うてみる。</p>	<p>🔊 児童同士のやりとりを観察しながら、 Great! Good job. などの言葉をかけていきます。</p>